

私たちの
年の
生まれ



「今年に思う」

松本佳世子
浅田



新年あけましておめでとうございます。
今年「丑」年を迎え、私にとっては2度目の干支となりました。三隅町で生まれ育ち、金融機関に就職して早いもので5年になります。職場の方々にも恵まれ、仕事を通して多くの人達と出会い、支えられながら今日までこれた事に大変感謝しています。
日々変わりゆく時代の中で、三隅町もまた大きく変わろうとしています。社会人として、三隅町の一員として、住みよい町づくりを目指し、少しでも地域発展に貢献できるよう、又、仕事の面でも、住民の皆様へ愛され信頼される銀行員になれるよう笑顔絶やさずに今年1年、心を新たに頑張りたいと思います。

「最後までやりとおしたい」

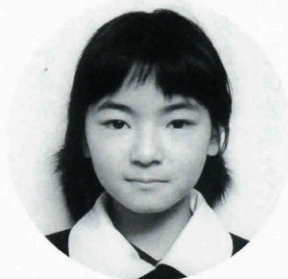
安藤雅裕
下東方（浅田小6年）



僕たちは、3月になれば卒業してしまいます。そして4月には、中学生になります。だから僕は、次の目標を立てて、今年がんばりたいと思います。
その目標は、まず、学習面では、いつも、「やろう、やろう。」と言いながら、やらなかったり最初はやっても、途中でやめたりしていました。だから、今年は、途中でやめたりせず、何事にもチャレンジし、最後までやりとおしたいと思います。
次に、スポーツの面では、中学生になったら、部活があります。僕は今、野球部に入ろうと思っています。野球部は、大変だと聞いているけど、どんな厳しい練習にもめげず、取り組んでいきたいと思っています。
もっと、違う面から見ると、まだまだたくさんがんばらなければならないことや、僕の悪いところはたくさんあると思います。でも、それをいっきに直すことは、だれにもできないと思うので一つずつ直していきたいと思います。今年、これを目標に、がんばっていききたいと思います。

「一日一日を大切に」

上野麻美
野波瀬（明倫小5年）



新年あけましておめでとうございます。
新しい年が始まり、「丑年」となりました。
牛と言えば、動作がおそいというイメージがあります。実際今までの私は、人に頼まれたことや、自分で「やろう。」と思っていたことを、すぐには実行にうつせないところがありました。今年こそは、そんなことがないように、するべきことは、ときばきと、納得がいくまでやりたいと思っています。
また、あの大きくやさしそうな牛のように、広い心を持ち、多くの友達を作っていきたいです。
4月には、いよいよ6年生。小学校の最高学年です。下級生の世話を進んでしたり、下級生の手本になるような行動をとりたいと思います。そして、今までできなかった新しいことにも次々とチャレンジするつもりです。
12年に一度くる私の年。この1年を、くいの残らないようにするために、一日一日を大切にしようと思います。

